

ぷれいす東京 NEWS

Positive Living And Community Empowerment TOKYO



ぷれいす東京NEWS 2017年2月号

代表・生島嗣が、第31回日本エイズ学会学術集会・総会の会長に指名

この度、ぷれいす東京代表・生島嗣が、第31回日本エイズ学会学術集会・総会の会長に指名されました。社会系の会長として理事会で推薦をうけ、総会で承認されました。皆様のお力添え、どうぞよろしく申し上げます。

第31回日本エイズ学会学術集会・総会

日 時：2017年11月24日（金）～11月26日（日）

会 場：中野サンプラザ 他

Webサイト：<http://aids31.ptokyo.org/>



特定非営利活動法人 ぷれいす東京
代表 生島 嗣

今号のもくじ

代表・生島嗣が、第31回日本エイズ学会学術集会・総会の会長に指名

お知らせ

- 2月11日（土・祝）【支援者・教育者向け】HIV

- 毎日新聞「HIV：共に生きる感染者の思い 夫夫で治療に向き合い」
- Abema TIMESにスタッフが出演「蒼井そらが街頭でコンドームを配布する理由」

と性の教育セミナー「トランスな私たちと性の健康」のご案内

- 2月19日（日）「HIV陽性者による第30回日本エイズ学会参加報告会」のご案内
- 日本NPOセンター×電通によるポスター展に参加
- 「ぴいちゃん」デビュー！

取材から

- Webサイト「Letibee Life」の取材を受けました
- ダイヤモンド・オンライン「HIV陽性者の8割が職場で告白できない「誤解と差別」の現実」
- 毎日新聞「HIVと共に生きる～感染 等身大伝え、垣根取る」

活動から

- ぶれいすトーク「国際エイズ会議 in 南アフリカ・ダーバン 参加報告会」のご報告
- 南ア便り(1)～(5) おつきレポート

VOICE

- 特集「2016年度新人ボランティア合同研修報告」

おすすめ情報

- ぶれいす東京Webの歩き方2（ぴいちゃんボタンを押してみよう）

スタッフの声

寄付・応援

相談窓口

VOICE

お知らせ

2月11日（土・祝）【支援者・教育者向け】HIVと性の教育セミナー「トランスな私たちと性の健康」のご案内

渋谷区同性パートナーシップ条例から1年、LGBTという言葉はふつうに使われるようになりましたが、LGBTのなかのトランスジェンダーの性の健康についてはほとんど語られません。LGBTという縦割りのくくりではおさまらない人たちもいるし、少数派になるほど健康リスクにさらされたりします。そんな埋もれたテーマを二人のトランスジェンダーのゲストとほりおこし、多様さの幅を広げます。

 [この記事を読む…](#)



2月19日（日）「HIV陽性者による第30回日本エイズ学会参加報告会」のご案内

一般社団法人HIV陽性者支援協会（社会福祉法人はばたき福祉事業団、特定非営利活動法人ぶれいす東京、特定非営利活動法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス）では、第30回日本エイズ学会学術集会「HIV陽性者参加支援スカラシップ」の報告として、報告会を開催します。ぜひご参加ください。

日本エイズ学会学術集会
HIV陽性者参加支援スカラシップ

 [この記事を読む…](#)

日本NPOセンター×電通によるポスター展に参加

日本 NPO センターと電通のコラボによる「ソーシャル・ポスター展」に参加した。この企画では、電通の社員が社会貢献の一環でNPO団体の取材をし、その団体に取り組む社会課題や活動を紹介するものだ。NPO69団体に電通グループ社員132名が参加したという大掛かりなもので、200枚以上のポスターが生まれたらしい。NPOとクリエイターとのマッチングは、SDG's（国連「持続可能な開発目標」）を参照にしたという。

メインのコピーは、「うつらないよ ちゃんと治療しているから。」



「ぴいちゃん」デビュー！

「ぶれいす東京のキャラクターがあったら、広報に役立つよね」と、何度も会議の中で話し合われていましたが、「ぶれいす東京NEWS」スタートの際に、デザイナーの新藤岳史さんにそのことを話したら、さらっと創ってくれました。

そのぴいちゃんをつかった「ぴいちゃんカード」ができあがりました。



取材から

代表の生島がWebサイト「Letibee Life」の取材を受けました

「Letibee Life」

2017年1月5日（木）・1月11日（木）・2月1日（木）

教えて！HIV/エイズの最新情報

【第一回】服薬の最新情報とウイルス検出限界以下とは？

【第二回】ウイルス検出限界以下は感染源にはなりえない

【第三回】曝露前予防(PrEP・プレップ)の日本での可能性とは？



毎日新聞「HIVと共に生きる～感染 等身大伝え、垣根取る」



[ダイヤモンド・オンラインの取材を受けました。「HIV陽性者の8割が職場で告白できない「誤解と差別」の現実」](#)



この記事を読む…

[毎日新聞Webの取材を受けました。「HIV：共に生きる感染者の思い夫夫で治療に向き合い」](#)



この記事を読む…

[Abema TIMESにスタッフが出演しました。「蒼井そらが街頭でコンドームを配布する理由」](#)



この記事を読む…

活動から

[ふれいすトーク「国際エイズ会議 in 南アフリカ・ダーバン 参加報告会」のご報告](#)

7月18日（月）～22日（金）に、南アフリカのダーバンで開催された、第21回国際エイズ会議の参加者で、国内でHIV陽性者を対象にした数多くの調査に携わってこられた井上洋土さん（放送大学教授）、当団体の研究スタッフの大槻知子からの報告がありました。



この記事を読む…

▼ 参加者による感想の一部を抜粋

[「エイズ対策は誰のためのものか？」 Zona（30代／男／ゲイ）](#)

「…エイズ対策とは、一体誰のためのものなのだろう？と考えました。…」



この記事を読む…

[「臨場感あふれる報告会」本多美里（30代／女性）](#)

「…お二人の臨場感あふれるお話から、学会の様子やダーバンという土地の状況などに思いを巡らせ…」



この記事を読む…

以下は、大槻が寄せてくれたもっと詳しい現地レポートです。

[「南ア便り\(1\)：いまだ沈黙=死」（スタッフ日記から／2016.7.20 おーつき）](#)

（抜粋）…南アフリカにはおよそ700万人のHIV陽性者が暮らしていますが、2009年以来HIV陽性の子どもの数が76%減少し…

[「南ア便り\(2\)：PrEP、PrEP、そしてPrEP」](#)

[「南ア便り\(3\) : ダーバンの歩き方」](#)

[「南ア便り\(4\) : アフリカのLGBT」](#)

[「南ア便り\(5\) : From Durban to Durban to…」](#)



寄付・応援

相談窓口

VOICE

VOICE 特集 「ぷれいす東京 新人ボランティアスタッフ合同研修」

昨年9月にぷれいす東京のボランティアスタッフになるための「合同研修」を開催しました。参加者の感想文4編を紹介します。今年も9月に開催予定です。詳しくはWebでチェックしてください。

[「学びと気づきの第一歩」ナカネ](#)

(抜粋)「…10代の頃からHIV/AIDSに関心があったので、是非ボランティア活動をしたいと思っ
い…」



[この記事を読む…](#)

[「新人ボランティア研修の感想文」クロ](#)

(抜粋)「…実体験に基づく勇気ある叫びそのものが、重圧の底を乗り越えた、人間としての厚みを感じさせる…」



[この記事を読む…](#)

[「それぞれに役割がある」れいこ \(女性/30代\)](#)

(抜粋)「ぷれいす東京で新人ボランティア研修がある。信頼できる団体。」…こんなツイートを偶然目にしたことが…」



[この記事を読む…](#)

[「当事者として出来ることをやっ ていこう！」タカヒロ](#)

(抜粋)「ボランティアスタッフは是非やってみ
いけど、本当に自分にやっ
ていけるのか…」



[この記事を読む…](#)

Living with HIV

身近な人からHIV陽性と伝えられたあなたへ

HIV陽性者のパートナー、配偶者、家族、友だち、職場の仲間など…このウェブサイトは身近な人からHIV陽性と伝えられた、さまざまな人たちのために作成されました。

ふれいす東京Webの歩き方(2)

- ぴいちゃんボタンを押してみよう

[「よくある質問・みんなの回答集」](#)の回答の「続きを読む」をクリックすると、ページの右側にPマークが出てきます。今後Pマークが「ぴいちゃん」に代わる予定です。相談したくなったらいつでもクリックしてくださいね。

そのぴいちゃんをつかった「ぴいちゃんカード」もあります。「ぴいちゃん」をよろしくお願いします。



スタッフの声

[台湾 2016世界エイズデー主題歌「愛相同」を紹介します。\(スタッフ日記から/2016.10.19 生島\)](#)

(抜粋) …日本以上にHIV感染の広がり心配される台湾ですが、今年、2016年国際エイズデーには主題歌「愛相同」がつくられたようです。…



「ネスト・ニュースレター編集後記から」(かとう)

元々歌うことが好きなのですが、なかなか時間が取れずにカラオケにも行けません。最近、スマホのカラオケアプリを使って見知らぬ人とコラボして歌っています。何を歌ってもそのアーティストに寄ってしまい、コラボ相手から「モノマネ芸人さんかと思いました」と言われる始末。オリジナルティ、カモン。(2016年7月号より)

「ネスト・ニュースレター編集後記から」(さとう)

2年ぶりに、普天間かおりさんのライブにでかけた。以前、ゲイとHIV陽性であることを伝えたが、時間が欲しいと言われた。ライブを終えて、花道を戻ってくるとき、僕らの顔を見つけて、両手でハイタッチ、満面の笑みが、そこにあった。たぶんそれが回答。こういう瞬間に幸せを感じる。心がほっこりした。(2016年10月号 一部改訂)

[\[スタッフ日記\]](#)

ふれいす東京には、いろいろな人がかかわっていて、さまざまな活動がおこなわれています。ニュースレターや活動報告書ではお伝えできないひとりひとりの思いや、日々の風景があります。

寄付・応援

ぷれいす東京の活動は、HIV陽性者たちのサポートに欠かせないものです。皆様のご協力が必要です。クレジット決済では、月々1,000円からサポートを続けることができます。

相談窓口

感染不安の電話相談、HIV陽性者・パートナー・家族など周囲の方、および判定保留・確認検査待ちの方のための電話相談、ゲイによるゲイのための電話相談があります。

Living with HIV

身証を人からHIV陽性と伝えられたあなたへ

Living with HIVは、HIV陽性者のパートナー・家族・友だち・職場の仲間などの、24編の手記と、基礎知識データを取りまとめた短いコラムなどからなります。



ぷれいす東京NEWSの購読について

ぷれいす東京NEWSはこれまでにメールアドレスを登録された方に、外部のメール配信システム（ブレインメール）を使って送信しています。送信不要の場合、またはアドレス変更をご希望の場合は専用ページで手続きができます。ブレインメール（@e.bme.jp）からのメールを受信できるように設定をお願いします。

[登録・解除フォーム](#)

特定非営利活動法人ぷれいす東京

〒169-0075 [東京都新宿区高田馬場4-11-5 三幸ハイツ403](#)

[03-3361-8964](tel:03-3361-8964)（月～土12-19時 ※祝祭日を除く）

Webサイト <http://www.ptokyo.org>

メールでのお問い合わせ office@ptokyo.org